

# やってみよう!

## 環境設定編

環境設定の事例を参考にしながら、子どもの姿に合った保育環境を描いてみましょう。  
あなたなら、子どもを取り巻く環境に対して、どのような願いを込めて、どのような工夫ができるでしょうか?

### ○あなたが見たい子どもの姿

次の3つをイメージして、それぞれを箇条書きにしてみましょう。

1. 自然保育、食育、芸術のいずれかの場面で、あなたが見たいと思う「子どもの姿」をイメージしてください。
2. その姿は、どのような場所で見られますか? 具体的に考えてみましょう(例: 屋外、園庭、砂場エリアなど)。
3. そこには、どのような道具や人の関わりがありますか?



15・16ページを参照してね



### ○イメージされる環境と工夫

その姿が生まれている環境(風景)を絵で描いてみましょう。  
また、そこで工夫できそうな環境設定(道具、人、時間など)を、箇条書きにしてみましょう。

### Point

子どものどんな姿を引き出したいですか?  
例をヒントに、工夫できるポイントを  
考えてみましょう。

#### 例 自由に創作する姿を引き出したい場合

- ・子どもが道具を自由に出し入れできるように、ラベルや色でわかりやすくカテゴリーごとに分類、小分け収納してみる。
- ・創作エリアが広ければ、造形やものづくりの試行錯誤がしやすくなります。

#### 例 集中して学ぶ姿を引き出したい場合

- ・座るエリアと動くエリアを分け、座って集中する場所を静かなエリアとしてゾーニングすると共に、ルールを共有しましょう。
- ・部屋の片隅を棚などで区切って、集中できるエリアをつくってみましょう。  
心を落ちつける際にも活用できるかもしれません。

書きづらい場合は、子どもとの日常シーンを振り返りながら、イメージを広げてみましょう。



# やってみよう!

## エピソード編

20・21・27・28・34・35ページを参照してね



エピソードの事例を参考にしながら、子どもの姿に合った学びの引き出し方を描いてみましょう。あなたなら、子どもの姿から、どのような関わり方の工夫ができるでしょうか？

### ー ワークシートの使い方 ー

- ① 良い学びの機会につながったと思う「場面」を思い出して、ラフスケッチや箇条書きで描いてみましょう。状況がわかるように、子どもの表情やあなたのかけた言葉なども入れてみましょう。
- ② その場ではどんな学びが起こっていたでしょうか。さまざまな「解釈」から振り返ってみましょう。
- ③ そこで実現したかった学びを引き出すためには、ほかにどんな「対応」の仕方があったのか、次に生かしたいことを可能性として書き出してみましょう。

### 書き込みの例

場面

おかわりをしたい子に、「自分が食べられるぶんを入れようね」と伝えたら、ごはんの量を意識するようになった。



解釈

自分で茶碗にごはんをよそうことで、食べる量をお腹のすき具合に合わせて自分で調整していける機会をつくれたように感じる。

対応

「みんなで給食を楽しむために、ほかの子がおかわりすることも考えてよそおうね」と伝えたら、自分の満足だけでなく、一緒に給食を楽しむ友達への配慮や思いやりも育つかも说不定。

場面

解釈

対応

# やってみよう!

## ひとつの姿編

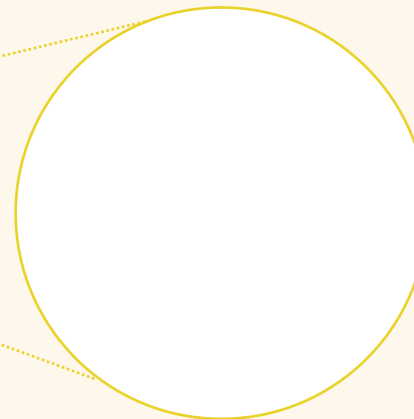
22ページを参照してね



22ページで紹介した「ひとつの姿」の事例を参考に、日常の保育のなかにある、子どもの「ひとつの姿」に着目して、いくつかの解釈や選択肢がないかを考えてみましょう。

『ひとつの姿』

ZOOM UP!



A

.....  
〈学びの可能性〉

B

.....  
〈学びの可能性〉

C

.....  
〈学びの可能性〉

### — ワークシートの使い方 —

- ① 思い浮かぶ「ひとつの姿」を、絵や文字で描いてみましょう。
- ② 描いた「ひとつの姿」から想像される子どもの状況を、ABCの欄それぞれに絵や文字で書き込みましょう。
- ③ ABCに対し、どのような学びの可能性があるか、考えて書き込んでみましょう。それが次の手立てのヒントになるはずです。